

本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 24 年 5 月 24 日

理事長 松山 良一

訪日外客数 (2012 年 4 月推計値)

4 月 : 訪日外客数
/ 前年同月比 163.9% 増、前々年同月比 0.9% 減の 78 万 1 千人に

出国日本人数については、最終頁をご参照ください。

- 東日本大震災の影響からの着実な回復傾向が続いている。
(2010 年同月比の推移 : 2012 年 1 月=6.9% 増、2 月=17.6% 減、3 月=4.4% 減、4 月=0.9% 減)
- 台湾、タイ、中国などの市場では、東日本大震災の影響からの回復が顕著に認められる。
(タイは単月として過去最高、台湾、中国も 4 月として過去最高に迫る訪日外客数)
- 韓国、カナダ、フランス等、放射能汚染や大地震への不安、円高等の影響により、依然として回復に遅れが見られる市場もある。

* 2012 年 2 月訪日外客数暫定値および 2007 年～2011 年 各国・地域別 日本人訪問者数 (受入国統計) は、JNTO Web サイトに掲載しています。

◇ 2012 年 2 月暫定値 :

http://www.jnto.go.jp/jpn/tourism_data/data_info_listing.html

◇ 2007 年～2011 年 各国・地域別 日本人訪問者数 (受入国統計) :

http://www.jnto.go.jp/jpn/tourism_data/index.html

お問い合わせ先：
海外マーケティング部
市場統括グループ
TEL : 03-3216-1902



平成24年 訪日外客数推計値

2012 Visitor Arrivals

		訪日外客数 Visitor Arrivals			平成24年5月24日 (単位:人 / Unit: Persons)	
月 Month	平成22年 2010	平成23年 2011	平成24年 2012	伸率(対23年) Change %	伸率(対22年) Change %	
1 Jan.	640,346 (437,752)	714,099 (505,543)	684,819 (485,860)	-4.1 (-3.9)	6.9 (11.0)	
2 Feb.	664,982 (514,106)	679,398 (506,446)	547,948 (364,537)	-19.3 (-28.0)	-17.6 (-29.1)	
3 Mar.	709,684 (484,298)	352,666 (190,723)	*678,500	*92.4	*-4.4	
4 Apr.	788,212 (601,872)	295,826 (108,820)	*780,800	*163.9	*-0.9	
5 May	721,348 (536,880)	357,783 (183,800)				
6 June	677,064 (511,123)	432,883 (282,167)				
7 July	878,582 (714,623)	561,489 (396,639)				
8 Aug.	802,725 (613,413)	546,503 (373,195)				
9 Sept.	717,756 (498,421)	538,727 (323,971)				
10 Oct.	727,278 (507,872)	615,701 (404,377)				
11 Nov.	634,818 (435,315)	551,571 (358,056)				
12 Dec.	648,380 (506,299)	572,101 (423,650)				
1~4 Jan.-Apr.	2,803,224 (2,038,028)	2,041,989 (1,311,532)	*2,692,100	*31.8	*-4.0	
1~12 Jan.-Dec.	8,611,175 (6,361,974)	6,218,747 (4,057,387)				

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

(If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.)

◆注2：訪日外客数の平成22年は確定値、平成23年および平成24年は暫定値、*部分はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3：訪日外客数(確定値・暫定値)は法務省資料を基にJNTOが算出した数値である。

◆注4：訪日外客数(確定値・暫定値)とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆注5：()内は、総数のうちの観光客数である。

2012年4月 訪日外客数（JNTO推計値）

Visitor Arrivals for Apr. 2012 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2011年 4月	2012年 4月	伸率(%)	2011年 1月～4月	2012年 1月～4月	伸率(%)
総数	Grand Total	295,826	780,800	163.9	2,041,989	2,692,100	31.8
韓国	South Korea	63,790	152,500	139.1	652,913	645,700	-1.1
中国	China	76,164	149,600	96.4	343,106	500,900	46.0
台湾	Taiwan	35,800	138,800	287.7	268,454	443,100	65.1
香港	Hong Kong	5,774	44,200	665.5	103,610	158,100	52.6
タイ	Thailand	8,001	40,800	409.9	44,728	94,600	111.5
シンガポール	Singapore	2,360	12,800	442.4	30,158	41,100	36.3
豪州	Australia	6,490	17,500	169.6	69,499	76,500	10.1
米国	U.S.A.	29,788	64,300	115.9	165,563	222,600	34.5
カナダ	Canada	5,292	13,500	155.1	34,317	46,800	36.4
英国	United Kingdom	8,010	17,400	117.2	45,579	61,400	34.7
フランス	France	5,472	14,500	165.0	29,599	40,700	37.5
ドイツ	Germany	3,268	9,600	193.8	24,487	34,700	41.7
マレーシア	Malaysia	3,462	12,200	252.4	24,867	40,300	62.1
インド	India	4,715	6,100	29.4	18,939	22,200	17.2
ロシア	Russia	1,646	4,700	185.5	11,063	14,700	32.9
インドネシア	Indonesia	2,874	9,600	234.0	15,860	26,900	69.6
ベトナム	Vietnam	3,787	6,500	71.6	13,529	18,700	38.2
その他	Others	29,133	66,200	127.2	145,718	203,100	39.4

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2011年の数値は暫定値、2012年の数値はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2012 stands for the preliminary ones estimated by JNTO.

2012年4月 訪日外客数 (JNTO推計値) 対前々年(2010年)同月(4月)比較

Visitor Arrivals for Apr. 2012 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2010年 4月	2012年 4月	伸率(%)	2010年 1月～4月	2012年 1月～4月	伸率(%)
総数	Grand Total	788,212	780,800	-0.9	2,803,224	2,692,100	-4.0
韓国	South Korea	189,582	152,500	-19.6	788,714	645,700	-18.1
中国	China	150,788	149,600	-0.8	487,716	500,900	2.7
台湾	Taiwan	109,680	138,800	26.5	394,469	443,100	12.3
香港	Hong Kong	46,598	44,200	-5.1	165,721	158,100	-4.6
タイ	Thailand	36,817	40,800	10.8	84,982	94,600	11.3
シンガポール	Singapore	13,817	12,800	-7.4	44,654	41,100	-8.0
豪州	Australia	18,383	17,500	-4.8	86,391	76,500	-11.4
米国	U.S.A.	66,879	64,300	-3.9	230,720	222,600	-3.5
カナダ	Canada	15,332	13,500	-11.9	53,073	46,800	-11.8
英国	United Kingdom	18,419	17,400	-5.5	64,119	61,400	-4.2
フランス	France	17,451	14,500	-16.9	47,634	40,700	-14.6
ドイツ	Germany	10,196	9,600	-5.8	38,529	34,700	-9.9
マレーシア	Malaysia	11,482	12,200	6.3	36,244	40,300	11.2
インド	India	5,557	6,100	9.8	20,624	22,200	7.6
ロシア	Russia	5,021	4,700	-6.4	16,068	14,700	-8.5
インドネシア	Indonesia	6,774	9,600	41.7	20,253	26,900	32.8
ベトナム	Vietnam	4,000	6,500	62.5	13,995	18,700	33.6
その他	Others	61,436	66,200	7.8	209,318	203,100	-3.0

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2010年の数値は確定値、2012年の数値はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2012 stands for the preliminary ones estimated by JNTO.

2011年3月に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所事故の影響により、訪日外客数が著しく減少したため、2012年3月以降の統計については、これまでの前年同月比に加え、前々年同月比にも留意した分析を行っていきます。

2012年4月 訪日外客数推計値

4月	780,800人（前年同月比163.9%増、485,000人増） （2010年同月比0.9%減、7,400人減）
1～4月	2,692,100人（前年同期比31.8%増、650,100人増） （2010年同期比4.0%減、111,100人減）

タイ、インド、インドネシア、ベトナムは、4月として過去最高を記録した。特にタイは、4月に限らず、単月で過去最高であった2010年4月（36,817人）を約4,000人上回り、過去最高を記録した。

[考えられる要因・背景]

座席供給量の拡大やプロモーション効果が回復を後押しする一方、放射能汚染への懸念の継続や地震報道による不安、円高などが訪日旅行の回復に影響

4月の訪日外客数増減の主な要因・背景には、以下が挙げられる。

- 放射能汚染に対する懸念の継続（韓国、中国、香港、シンガポール、豪州、フランス、ドイツ）
- 地震報道による不安（韓国、中国、香港）
- 円高（韓国、香港、米国、カナダ、英国、フランス、ドイツ）
- 燃油サーチャージの高止まり（米国、カナダ、フランス）
- 座席供給量の拡大（韓国、台湾、タイ）
- 個人旅行の増加（中国、台湾）
- 露出度を高めたプロモーションの効果（韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、豪州、米国、カナダ、英国）

【市場別 訪日外客数（推計値）】

◆韓国

地震報道による不安、放射能汚染への懸念、円高などが影響

4月:	152,500人	(前年同月比139.1%増、88,700人増) (2010年同月比19.6%減、37,100人減)
1~4月:	645,700人	(前年同期比1.1%減、7,200人減) (2010年同期比18.1%減、143,000人減)

[考えられる要因・背景]

- 3月末から続いた地震予測報道や地震津波関連報道による訪日への不安、放射能汚染への懸念が払拭されず、4月も訪日旅行が敬遠された。
- 円の高止まりが、消費者心理に影響を及ぼしているものと考えられる。
- 訪日旅行商品の造成支援を行ったツアーが、テレビショッピングで放送・販売され、訪日旅行を後押ししたと考えられる。
- 多くのLCCの新規就航などにより座席供給量が拡大した。また、対馬航路を利用した旅行商品の販売が好調だった。

◆中国

地震報道による不安などが影響

4月:	149,600人	(前年同月比96.4%増、73,400人増) (2010年同月比0.8%減、1,200人減)
1~4月:	500,900人	(前年同期比46.0%増、157,800人増) (2010年同期比2.7%増、13,200人増)

[考えられる要因・背景]

- 3月末から続いた地震予測報道や日中間の不安定要因が、訪日旅行意欲を抑制する一因となった。また、放射能汚染への不安も依然として一部の消費者に残っている。
- 2月~3月にかけて、地下鉄駅の壁面広告、バス停やバス車体広告などの桜の時期に向けた大規模なプロモーションを集中的に実施した。観桜ツアーへの関心の高まりが、4月の訪日旅行需要の拡大につながったと考えられる。
- 沖縄個人観光数次ビザの解禁や個人観光ビザの発給要件緩和により、個人旅行者の増加傾向がみられる。
- 本年の清明節休暇は4月2日（月）から4日4日（水）であったが、前後に休みを取ると5日間~9日間の連休になり、外国旅行需要が高まった。

◆台湾

日台間の座席供給量の拡大、個人旅行の増加

4月:	138,800人	(前年同月比287.7%増、103,000人増) (2010年同月比26.5%増、29,100人増)
1~4月:	443,100人	(前年同期比65.1%増、174,600人増) (2010年同期比12.3%増、48,600人増)

[考えられる要因・背景]

- オープンスカイによる新規路線就航や増便により、航空座席供給量が増加した。
- 個人旅行の増加やインセンティブ旅行の催行が、本格的な訪日需要回復を後押しした。
- 日台オープンスカイを契機とした現地航空会社との共同広告や、台湾の主要各都市での消費者イベントの実施など広く宣伝を展開したことにより、訪日需要を喚起したと考えられる。
- 東北地方への客足は依然として厳しい状況であり、首都圏への団体旅行需要も敬遠ムードが続いている。

◆香港

地震報道による不安などが影響

4月:	44,200人	(前年同月比665.5%増、38,400人増) (2010年同月比5.1%減、2,400人減)
1~4月:	158,100人	(前年同期比52.6%増、54,500人増) (2010年同期比4.6%減、7,600人減)

[考えられる要因・背景]

- 東日本地域への訪日旅行の懸念は継続しており、東京方面の戻りは依然として鈍い傾向にある。
- 継続して発生している比較的規模の大きい地震の報道が、震災のイメージの払拭を妨げていると考えられる。
- 香港の消費者物価指数は高い上昇率を示していることに加え、依然として高水準にある円高が、消費者心理に影響を及ぼしているものと考えられる。
- 露出度の高い広告や旅行会社との共同広告などによる大規模な日本の観光宣伝を継続的に行うとともに、JNTO日本観光親善大使のエリック・ツァン氏を起用した震災復興一周年テレビ番組の放映を通じ、震災の影響を受けた地域への訪日旅行回復を促進した。

◆タイ

訪日旅行のプロモーションが奏功

4月:	40,800人	(前年同月比409.9%増、32,800人増)
		(2010年同月比10.8%増、4,000人増)
1~4月:	94,600人	(前年同期比111.5%増、49,900人増)
		(2010年同期比11.3%増、9,600人増)

これまで単月で過去最高だった2010年4月(36,817人)を約4,000人上回り、過去最高を記録した。

[考えられる要因・背景]

- タイからの訪日旅行が最盛期となる4月に向けたプロモーション事業により、訪日旅行の需要を喚起した。
- 桜の開花が4月になるとの情報も加わり、4月の訪日旅行需要を後押しした。
- 昨年10月の大洪水の影響により、本年の学校休暇の開始が4月にずれ込む学校が発生した。
- 航空路線の増便やチャーター便の運航により、航空座席供給量が増加した。

【参考】日本政府は、本年6月1日より、観光や親族訪問などの目的で日本を訪問するタイ国内に居住するタイ国籍の方々に対し、数次ビザを発給することとした。これにより、タイから日本への観光客の増加が期待される。

◆シンガポール

放射能への不安の継続が影響

4月:	12,800人	(前年同月比442.4%増、10,400人増)
		(2010年同月比7.4%減、1,000人減)
1~4月:	41,100人	(前年同期比36.3%増、10,900人増)
		(2010年同期比8.0%減、3,600人減)

[考えられる要因・背景]

- 家族層を中心に、放射能汚染への不安が払拭されず、訪日旅行意欲の減退傾向が継続している。一部では、放射能汚染が妊婦に与える影響について風評が広まり、訪日旅行が敬遠された。
- シンガポール経済の先行き不透明感が広がり、消費者心理に一定の影響を及ぼしているものと考えられる。
- 日本人によるシンガポール旅行需要の増大により、昨年10月以降、福岡、関西、名古屋線でシンガポール発の航空座席の確保が困難になっている。
- チャンギ空港と連携して造成した訪日旅行商品の販売が好調であったことや、ホテルチェーンによる訪日インセンティブ旅行が実施され、訪日旅行需要を下支えした。

◆豪州

放射能への不安の継続が影響

4月:	17,500人	(前年同月比169.6%増、11,000人増) (2010年同月比4.8%減、900人減)
1~4月:	76,500人	(前年同期比10.1%増、7,000人増) (2010年同期比11.4%減、9,900人減)

[考えられる要因・背景]

- 放射能への不安が、依然として消費者の訪日旅行意欲を一定程度抑制している。
- 日本特集記事や広告などの主要紙誌やオンライン版への掲載、テレビやJNTOウェブサイトなどを通じた訪日旅行を促進するための情報発信など、集中的なメディア露出により、訪日旅行需要を喚起した。

◆米国

円高、燃油サーチャージの高止まりが影響

4月:	64,300人	(前年同月比115.9%増、34,500人増) (2010年同月比3.9%減、2,600人減)
1~4月:	222,600人	(前年同期比34.5%増、57,000人増) (2010年同期比3.5%減、8,100人減)

[考えられる要因・背景]

- 円高基調や燃油サーチャージの高止まりが、訪日旅行の選択に不利に働いた。
- 放射能汚染への不安は一部残ってはいるが、震災に関する報道も減少してきており、訪日旅行の検討を再開する傾向にある。
- 本年は日本が米国に桜を寄贈して100周年にあたることから、3月に桜をテーマとした訪日旅行イベントをニューヨーク、ワシントンDC等で集中的に開催し、訪日旅行意欲を喚起した。

◆カナダ

円高、燃油サーチャージの高止まりが影響

4月:	13,500人	(前年同月比155.1%増、8,200人増) (2010年同月比11.9%減、1,800人減)
1~4月:	46,800人	(前年同期比36.4%増、12,500人増) (2010年同期比11.8%減、6,300人減)

[考えられる要因・背景]

- 円高基調にあり、訪日旅行の選択に不利に働いた。
- 日本行きの燃油サーチャージが、高止まりに加え、近隣のアジア諸国行きに

比べ突出しているため、消費者心理に影響を及ぼした。

- 現地航空会社、旅行会社との共同キャンペーンを断続的に実施し、訪日旅行需要を下支えした。

◆英国

円高が影響

4月:	17,400人	(前年同月比117.2%増、9,400人増) (2010年同月比5.5%減、1,000人減)
1~4月:	61,400人	(前年同期比34.7%増、15,800人増) (2010年同期比4.2%減、2,700人減)

[考えられる要因・背景]

- 英国経済の低迷、円高基調が続き、訪日旅行の選択に不利に働いた。
- 英国の航空会社及び高級日刊紙との共同で実施したインターネット上でのキャンペーンが、春の訪日旅行需要の喚起に繋がった。

◆フランス

放射能への不安の継続、円高などが影響

4月:	14,500人	(前年同月比165.0%増、9,000人増) (2010年同月比16.9%減、3,000人減)
1~4月:	40,700人	(前年同期比37.5%増、11,100人増) (2010年同期比14.6%減、6,900人減)

[考えられる要因・背景]

- 放射能への懸念が未だ払拭されておらず、4月も訪日旅行の回復に影響した。
- 円高基調や燃油サーチャージの高止まりが、訪日旅行の選択に不利に働いた。

◆ドイツ

放射能への不安の継続、円高が影響

4月:	9,600人	(前年同月比193.8%増、6,300人増) (2010年同月比5.8%減、600人減)
1~4月:	34,700人	(前年同期比41.7%増、10,200人増) (2010年同期比9.9%減、3,800人減)

[考えられる要因・背景]

- 放射能への懸念が未だ払拭されておらず、4月も訪日旅行の回復に影響した。
- 円高基調の高止まりが、訪日旅行の選択に不利に働いた。
- ドイツの経済は、「ユーロ危機」のもとでも好調に推移している。

【参考】

平成24年 出国日本人推計値

2012 Japanese Overseas Travelers

4月の出国日本人数は、前年同月比(対23年4月)25.1%増、前々年同月比(対22年4月)15.0%増、4月として過去最高の139万5千人に

月 Month	出国日本人数 Japanese Overseas Travelers			平成24年5月24日 (単位:人 / Unit: Persons)	
	平成22年 2010	平成23年 2011	平成24年 2012	伸率(対23年) Change %	伸率(対22年) Change %
1 Jan.	1,264,299	1,282,348	1,331,144	3.8	5.3
2 Feb.	1,289,825	1,391,193	1,572,587	13.0	21.9
3 Mar.	1,563,113	1,420,584	* 1,725,000	* 21.4	* 10.4
4 Apr.	1,212,959	1,114,906	* 1,395,000	* 25.1	* 15.0
5 May	1,262,453	1,152,339			
6 June	1,312,608	1,267,227			
7 July	1,405,335	1,465,379			
8 Aug.	1,642,240	1,786,412			
9 Sept.	1,541,041	1,637,158			
10 Oct.	1,437,105	1,517,525			
11 Nov.	1,397,424	1,497,704			
12 Dec.	1,308,822	1,461,425			
1~4 Jan.-Apr.	5,330,196	5,209,031	* 6,024,000	* 15.6	* 13.0
1~12 Jan.-Dec.	16,637,224	16,994,200			

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

(If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.)

◆注2：出国日本人数の平成22年および平成23年は確定値、平成24年は暫定値、*部分はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3：出国日本人数(確定値・暫定値)は法務省資料を転記した数値である。